

参加者募集

「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2024」

テーマ:希望ある未来をつくる

- 日時: 2月9日(金)～11日(日) 時間はプログラムにより異なります。
- 場所: 東京ボランティア・市民活動センター [東京都新宿区神楽河岸1-1] およびオンライン(Zoom)
- 内容:
 - 子ども・若者ケアラー(ヤングケアラー)支援を考える
～支援のあり方、支援の進め方、当事者の経験もふまえて～
 - 居場所づくりの中で「災害」を考えませんか?
～普段のつながりづくりからできること～
 - 図書館という公的な空間から新しい出会いを考える
～図書館×「やさしい日本語」×共生～
 - 10年後の「超ボランティア社会」を創造する
 - 暮らしに合わせた在宅避難を考えよう! ～私の備えとみんなの備え～
 - ストップ!食品ロス ～私たちにできることを考えよう～
 - ボランティアフォーラム第20回記念講演(参加費無料)
「市民は社会を変えることができるのか」
出演:元NHKアナウンサー堀潤さん
他 全22プログラム
- 対象: ボランティア活動や市民活動に関心のある方、実際に取り組んでいる方
- 定員: プログラムにより異なります(申し込み順)
- 参加費: 1分科会 1,000円/会場、フィールドワークの3分科会以上参加は3,000円均一
高校生以下、18歳未満は無料
- 申込・問い合わせ先:
東京ボランティア・市民活動センター
TEL:03-3235-1171 FAX:03-3235-0050



ボランティア・NPO活動サポート募金

「ボラサポ・令和6年能登半島地震」へのご寄付のお願い

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を中心に家屋倒壊などの被害が発生し、人的被害、住宅被害が生じ47市町村に災害救助法が適用されました。今後、被災地では、被災家屋の片付けや修理、被災された方の心身のケアなど多くのボランティア団体やNPOによる長期的な支援が必要となります。

中央共同募金会では、ご寄付を原資として被災地の災害ボランティアセンター等と連携して行う、ボランティア団体・NPO等の活動を支援します。

「被災地を支える人」を支えるための支援金へのご協力をお願いいたします。

- 募集期間 1月2日(火)から6月30日(日)まで(予定)
- 支援金受入口座
三井住友銀行 東京公務部 普通預金 0162585
(福)中央共同募金会
クレジットカードやコンビニでのご寄付も可能です(赤い羽根 災害 で検索)
※三井住友銀行本支店間での送金手数料は、ATM・窓口とも免除となります。
※ご寄付は特定公益増進法人に対する寄付として所得税、法人税の優遇の対象となります。
- お問い合わせ
社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部
TEL:03-3581-3846

令和6年

1月10日発行

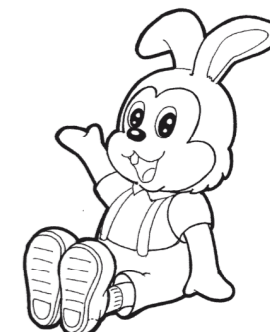
351号

八潮市ボランティアセンター通信

市民活動・ボランティア情報紙



ぬくもり



ボランティア スマイルリレー

みんなの居場所づくり

八潮市大曾根の福寿院にて、「智ちゃんの寺子屋」が始まってから3年目に入りました。

「誰もが来れる場所」、「誰もが平等でいられる場所」、「誰もが講師になれる場所」にしたいという気持ちから始まった寺子屋です。

現在は、毎月第3水曜日に「100年健康体操」や「ゆららかヨガ」「筋肉トレーニング」を本堂にて開講しています。講師の先生とみんな楽しく、それぞれの体調に合わせて無理なく身体を動かしています。また、毎週木曜日の夜には「学習の時間」として、主に中高生にお寺を開放しています。ボランティアで講師の先生が来ていますが、基本的に自主学习で、お友達同士や他学年でも教えあい頑張っています。そして、年に数回寺子屋イベントとして、ワークショップも開催しています。

地域の皆様に寺子屋を知っていただき、ご縁を広げて誰もが来ることのできる場所になると嬉しいです。

ボランティアスタッフ・講師ともに大募集中です。ご興味のある方がいましたらご連絡ください!!

※ 智ちゃんの寺子屋 連絡先 048-996-0751(福寿院)まで

ボランティアで
つながる
地域の“輪”



智ちゃんの寺子屋

みやもと ともこ
宮本 智子 さん

【編集・発行】

社会福祉法人 八潮市社会福祉協議会 八潮市ボランティアセンター

〒340-0802
八潮市大字鶴ヶ曾根414-1
八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ内

TEL 048-995-3636
FAX 048-995-5287
ホームページ
<https://yashio-shakyo.jp/>

【案内図】



「ぬくもり」は、市内公共施設、小・中・高等学校などの協力により、各施設の窓口に設置しています。